令和６年度　社会福祉法人瀬戸市社会福祉協議会　事業報告

（概説）

令和６年度は、長引く社会変動と価値観の多様化が進むなかで、地域における福祉の役割が一層問われる一年となりました。新型コロナウイルス感染症の影響が薄れつつある一方で、物価高騰やエネルギーコストの上昇、雇用や生活の不安定化など、日常生活を脅かす新たな課題が地域住民の暮らしに影を落としています。

こうした複雑化する生活課題に対し、地域住民が孤立することなく、つながりの中で支え合える仕組みの構築が求められました。このような状況のもと、当協議会では、地域福祉活動計画に掲げた４つの重点目標を基盤に、地域福祉の推進に取り組みました。

「誰もが集える居場所づくり」では、住民一人ひとりが地域とのつながりを実感できる場の創出を進め、支援が必要な人だけでなく、すべての人に開かれた参加の機会を大切にする活動を展開しました。こうした“ふだんの暮らし”の中にある自然な支え合いの場こそが、福祉の原点であるという視点を大切にしています。

「地域で活躍できる支えあいの人づくり」では、地域に根差した主体的な関わりが生まれるよう、福祉教育やボランティア育成、さらには多様な民間事業者との連携など、地域資源を有機的につなぎながら、地域住民一人ひとりの力を引き出す仕掛けづくりに注力しました。人と人とのつながりが新たな福祉の担い手を生み、地域の力を再構築していくという意識のもと、協働による地域課題の解決をめざしました。

また、「相談できる・つながる仕組みづくり」では、制度のはざまにある声なきニーズを拾い上げ、関係機関との連携のもと、包括的な支援体制の構築を目指しました。誰もが困ったときに立ち止まり、相談できる“まちの入口”として、地域の中に安心感のある相談機能を育てていくことは、今後の福祉において不可欠な基盤であると捉えています。

さらに、「支えあいの心をはぐくむ環境づくり」では、子どもから高齢者まで幅広い世代が、それぞれの立場から地域に関わる経験を重ね、福祉を“自分ごと”として捉えられるような教育や体験の場を設けてきました。こうした取り組みは、単なる知識の伝達にとどまらず、地域に根差した共感の輪を広げ、次世代の地域づくりを担う礎となるものです。

さらに本年度は、地域の変化や住民ニーズの多様化に対応するため、組織全体としてのガバナンス強化と職員研修の充実、そして事業の見直しを通じて、経営の持続可能性にも取り組みました。限られた資源の中で最大限の効果を上げるため、不断の改善と創意工夫が求められる時代において、地域福祉の実践者としての責任を果たすべく、内外の連携を深めながら柔軟かつ着実に歩みを進めています。

令和６年度は、まさに「地域とともにある社会福祉協議会」としての存在意義を改めて問い直し、暮らしの安心を支える仕組みを一つひとつ丁寧に育んできた年でした。これからも、「ともに生き、ともに支えあう社会」の実現に向けて、地域に寄り添い続ける福祉の拠点としての役割を果たしてまいります。

地域福祉活動計画　重点項目		
1　誰もが集える居場所づくり	地域のコミュニティを維持することができるように身近な地域で、だれもが集まることができる居場所づくりを進め、顔の見える地域づくりを目指します。	・地域の居場所推進事業～わがまち「よりどころ」プロジェクト～の推進 歩いて行くことができる身近な地域の居場所の開設を働きかけ、「よりどころ」として設置・認定を行い、「よりどころ」を拠点とし、住民同士が気軽にふれあい支えあうことができるまちづくりの推進に取り組みました。 ○認定数51か所
		・地区社協企画事業の推進 地区社協による高齢者や子育て世帯を中心としたサロン活動の立ち上げや継続への支援のほか、地域団体等が協働して行う福祉活動の推奨等、顔の見える地域づくりや居場所づくりに取り組みました。 ○企画事業助成件数6件(247,335円) 高齢者と小学生交流ボッチャ大会(原山台)、萩山交流ボッチャ大会(萩山台)、ぐるっぺ・モーニング（道泉）、グラウンドゴルフ交流（品野）、萩山交流なつまつり（萩山台）、土を楽しもう(作陶交流)（祖母懐）
2　地域で活躍できる支えあいの人づくり	地域に根差した福祉活動や災害時の支援体制における担い手の育成とともに、それらの活動を支援することで、自主的な地域活動を促します。	・ボランティア活動の促進 ボランティアセンターの機能強化を図り、時代や地域に求められるボランティアの育成に取り組みました。 ○地域福祉ボランティア活動助成金交付件数19件(993,329円)
		・災害ボランティアセンターの体制整備 災害ボランティアコーディネーターの養成をはじめ、災害ボランティアセンター立ち上げ訓練等を通じて、市や地域の関係諸団体との連携を強化・推進し、平時から大規模災害の被災地支援に即応できるよう災害ボランティアセンターの体制整備に取り組みました。 ○災害ボランティアコーディネーター養成講座受講者数30人 ○災害ボランティアセンター立ち上げ訓練参加者数120人
		・地域福祉パートナーシップ事業者認定制度の推進 地域の一員である民間事業者等が持ち合わせるノウハウ等を活かして取り組む地域貢献活動と地域に顕在する身近な福祉課題等とのマッチングを通じ、連携・協働の関係を構築し、多様な主体が支えあう地域社会づくりに取り組みました。 ○地域福祉パートナーシップ事業者認定数14事業者 大橋運輸(株)、(株)クリップハート、中部電力パワーグリッド(株)旭名東支社、雪印ビーンスターク(株)中部支店、日本生命保険(相)瀬戸営業部、(同)ＴＲＹ&ＴＲＩ、福祉用具セレクトショップりんりん、鈴一物産(株)、ハマダスポーツ企画(株)、(株)月昇天、（株）イー・ビー・シー AMILI新瀬戸、移動スーパーはじ丸、iriful Personal Gym、（有）シーズン ナーシングデイ柊(順不同、敬称略)
		・地域支えあい会議の開催 地域課題に応じた事業の取り組みにつなげるため、地域の関係機関の協力を得て開催している。地域包括支援センターと協働で開催し、地域の課題や取組について話し合いを行った。 ○地域支えあい会議開催数2回

3　相談できる・つながる仕組みづくり	地域住民の気づきの声を受け、市や様々な機関・団体と連携し、住民を支える相談体制を築き、相談できる・つながる地域づくりを目指します。	・地域包括ケアシステムの深化・推進 　基幹型地域包括支援センター及び市内の地域包括支援センターと本会の地域担当職員や生活支援コーディネーターが連携を図るとともに、民間企業、関係行政機関等との有機的な連携を強化するなど、住民を支える相談体制を構築し、地域包括ケアシステムの深化・推進に取り組みました。 ○総合相談支援（やすらぎ地域包括支援センター）403 件 ○相談支援（基幹型地域包括支援センター）1,506 件 ○障害者基本相談支援（障がい者相談支援センター）215 件 ○日常生活自立支援事業相談支援 330 件 ○地域ケア会議、地域支えあい会議関与数（主催、参加）12 回 ○地域福祉パートナーシップ事業者認定数 14 事業者（再掲）
		・生活困窮世帯への支援 　経済的な理由等により生活に困窮する世帯に対して、生活の安定と経済的自立を図ることを目的とした資金貸付に関する相談支援、子の就学援助のための奨学金支給、緊急時の一時的な食料支援等を行い、地域福祉の増進に取り組みました。 ○生活福祉資金相談援助延件数 701 件 ○小口融資件数 17 件(340,000 円) ○福祉奨学金入学準備費支給件数 171 件(3,420,000 円) ○エール便配布件数 130 件
4　支えあいの心をはぐくむ環境づくり	地域の中での声かけや交流等、支えあいの心を持てる機会づくりに努め、身近な住民同士での助けあいが日常的に行われる地域づくりを目指します。	・地域担当制の実践強化 　市内 7 か所の地域包括支援センター単位に地域担当職員や生活支援コーディネーターを配置し、地域にある福祉課題の掘り起こしとその解決に向け、地域住民への働きかけや話し合いを促進し、地域福祉活動の実践に取り組みました。 ○地域担当連絡会開催数 9 回
		・子どもから大人までの福祉教育の実践 　市内の小中学校等の児童・生徒に対して社会福祉に関する実践活動等の機会を確保するための福祉教育推進校事業の促進、誰もが学べる福祉実践教室・出前講座を実施し、支えあいの心をはぐくむ環境づくりに取り組みました。 ○福祉教育推進校委嘱数 7 校(335,343 円) ○福祉実践教室開催回数 74 回

1　法人運営事業

【予算額　74,419,000 円　　決算額　69,158,000 円】

⑴法人運営事業

<table>
<tr><td rowspan="2">1</td><td rowspan="2">役員会等の運営</td><td>内容</td><td colspan="4">法人の業務執行の決定機関である理事会(7 回(うち 2 回は書面))、法人運営に係る重要事項の議決機関である評議員会(6 回(うち 1 回は書面))、理事の職務執行の監査を行う監査会(1 回)、評議員の選任・解任を行う評議員選任・解任委員会(1 回)を開催した。

理事会決議事項
評議員選任・解任委員の選任
評議員選任・解任委員会の開催
評議員選任候補者の推薦
評議員会の開催
顧問の選任
令和 5 年度事業報告・決算
令和 6 年度補正予算(第 1 号)、(第 2 号)、(第 3 号)
職員の給与に関する規程の一部改正
副会長の選定
事務局組織規程の一部改正
職員就業規則の一部改正
臨時職員就業規則の一部改正
職員の退職手当に関する規程の一部改正
育児・介護休業等に関する規程の一部改正
令和 7 年度事業計画・予算
役員賠償責任保険の加入</td></tr>
<tr><td rowspan="4">2</td><td rowspan="4">会員募集</td><td>内容</td><td colspan="4">地域福祉の推進を目的として、本会の事業や活動に賛同いただける会員(一般、法人、施設)の増加を図り、その会費を地域福祉活動の財源とした。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">実績値</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>備考</td></tr>
<tr><td>8,094 件</td><td>7,844 件</td><td>7,062 件</td><td>一般会員
(年 1,000 円以上)</td></tr>
<tr><td>254 法人</td><td>267 法人</td><td>325 法人</td><td>法人会員
(年 3,000 円以上)</td></tr>
<tr><td>20 施設</td><td>20 施設</td><td>20 施設</td><td>施設会員
(年 2,000 円以上)</td></tr>
<tr><td>3</td><td>経理事務</td><td>内容</td><td colspan="4">会計帳簿の作成・整理及び保管、予算・決算、事業計画及び事業報告の策定、資産及び負債の管理等、法人の支払資金収支状況、経営及び財務の状態を把握し、適切な経理事務を行った。</td></tr>
<tr><td>4</td><td>労務管理</td><td>内容</td><td colspan="4">職員の勤怠を管理して給与支給事務を行った。また、健康保険等各種社会保険の手続きを行い、福利厚生の増進に努めた。安全衛生及び健康管理として、定期的に健康診断を実施し、職員の健康保持及び良好な職場環境の維持を図った。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">5</td><td rowspan="3">ふくし出前講座の実施</td><td>内容</td><td colspan="4">職員が「よりどころ」や地区社協等の会合に出向き、福祉に関する様々な情報や知識についての講座を実施した。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">実績値</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>備考</td></tr>
<tr><td>16 件</td><td>10 件</td><td>13 件</td><td>依頼及び実施件数</td></tr>
<tr><td rowspan="3">6</td><td rowspan="3">地域担当制の実践</td><td>内容</td><td colspan="4">7 地域包括支援センター単位に地域担当職員を配置し、地域にある福祉課題の把握及び解決に向け、地域住民とともに地域福祉活動を推進するため、地域担当連絡会を実施した。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">実績値</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>備考</td></tr>
<tr><td>12 回</td><td>12 回</td><td>9 回</td><td>地域担当連絡会開催回数</td></tr>
</table>

7	職員研修	内容	職員の資質向上及び業務上の必要性に応じて、外部の実施する研修等への積極的な参加を図った。また、内部の研修計画を立案して実施するなど、計画的に職員研修を実施し、人材の育成を図った。			
		実績値	R4	R5	R6	備考
			24 回	69 回	70 回	研修等実施回数

⑵団体事務運営事業(市受託事業)

1	各種団体の運営補助	内容	6 つの団体(瀬戸市遺族連合会、瀬戸市更生保護女性会、瀬戸市民生委員児童委員協議会、瀬戸市子ども会連絡協議会、瀬戸市母子福祉会、瀬戸市老人クラブ連合会)の運営に必要な事務局業務を実施した。

⑶生活支援コーディネーター配置業務(市受託事業)

1	地域の社会資源の把握及び開発	内容	地域における生活支援サービスに関連する資源の把握及び開発を行った。			
		実績値	R4	R5	R6	備考
			138 件	129 件	417 件	社会資源の把握及び開発件数
2	担い手養成講座の実施	内容	地域福祉パートナーシップ事業者の認定を受けた企業が地域貢献活動等について新たな地域の担い手として活躍していただけるよう、今年度は事業者個別に意見交換を行ったため、事業者交流会は開催しなかった。次年度は新たな事業者も増えたため開催予定である。			
		実績値	R4	R5	R6	備考
			1 回	1 回	0 回	
3	地域支えあい会議(第2層協議体)の開催	内容	地域課題に応じた事業の取り組みにつなげるため、地域の関係機関の協力を得て開催している。古瀬戸連区で地域包括支援センター中央東と協働で開催し、地域の課題や取組について話し合いを行った。			
		実績値	R4	R5	R6	備考
			1 回	0 回	2 回	開催数
4	地域担当職員との連携	内容	7 地域包括支援センター単位に配置された地域担当職員と緊密に連携し、社会資源等の情報共有及び～わがまち「よりどころ」プロジェクト～等の推進を行った。			
5	～わがまち「よりどころ」プロジェクト～の推進	内容	誰もが集える居場所づくりのため、地域住民や団体に働きかけを行い、歩いて行くことができる身近な地域の居場所を「よりどころ」として認定し、顔の見える地域づくりに取り組んだ。			
		実績値	R4	R5	R6	備考
			48 か所	52 か所	51 か所	認定数
6	地域福祉パートナーシップ事業者認定制度	内容	民間事業者等が地域貢献として取り組む活動と地域に顕在する身近な福祉課題等とのマッチングを通じ、地域福祉パートナーシップ事業者として連携・協働の関係を構築し、地域福祉の推進へとつなげた。			
		実績値	R4	R5	R6	備考
			5 事業者	10 事業者	14 事業者	認定事業者数

2　瀬戸市福祉保健センター事業

【予算額　106,200,000 円　　決算額　101,367,924 円】

⑴福祉保健センター管理事業(市受託事業)

1	瀬戸市福祉保健センターの管理・経営	内容	指定管理制度により、福祉保健センター(やすらぎ会館)の指定を受けて、管理・経営を行った。			
		実績値	R4	R5	R6	備考
			3,197 件 (42,183 人)	4,065 件 (75,528 人)	3,915 件 (80,228 人)	会館利用延件数及び延人数

⑵身体障害者福祉センター運営事業(市受託事業)

1	瀬戸市身体障害者福祉センターの運営	内容	障がい者に対し、社会参加のために必要な教養講座等を行うとともに、相談に対し助言・指導を行うなど、各種サービスの提供を行った。			
		実績値	R4	R5	R6	備考
			1講座 (11人)	1講座 (19人)	3講座 (13人)	開催講座数及び参加延人数
2	やすらぎマルシェの開催	内容	障がい者就労施設等の利用者の就労体験及び会館利用者との交流を目的として、毎週水曜日と木曜日に施設の製品等をやすらぎ会館で販売した。			
		実績値	R4	R5	R6	備考
			60日 (98施設)	92日 (179施設)	75日 (134施設)	販売日数及び参加施設数
3	障がい施設等手作り品の展示販売の実施	内容	障がい福祉の理解促進と障がい施設等利用者の社会参加及び手作り品の販路拡大のため、障がい施設等利用者が作成した雑貨をやすらぎ会館1階ロビーで常設の展示販売を実施した。(R6.11から新規)			
		実績値	R4	R5	R6	備考
			―	―	5事業所	参加事業所数
4	福祉夏まつりの開催	内容	会館利用者やボランティア団体及び市民の交流を図った。			
		実績値	R4	R5	R6	備考
			348人	880人	933人	R6.8.2(金) 参加人数
5	福祉お楽しみ交流会の開催	内容	高齢者や障がい者がデジタル機器に触れる機会として、e スポーツ体験会を開催し、新たな生きがいづくりや交流の支援を行った。			
		実績値	R4	R5	R6	備考
			演芸会47人 出展数133点 作品展・体験 166人	演芸会57人 出展数141点 作品展・体験 148人	eスポーツ 体験会 42人	R7.2.14(金) 参加人数

⑶老人福祉センター運営事業(市受託事業)

1	瀬戸市老人福祉センターの運営	内容	60歳以上の高齢者や障がい者に対して、交流の場、健康増進のための入浴サービス・機能回復訓練、生活や健康の相談を行った。			
		実績値	R4	R5	R6	備考
			115件 (793人)	125件 (1,079人)	90件 (1,003人)	団体利用件数及び利用延人数
			12,673人	19,134人	25,307人	入浴等利用延人数
2	高齢者及び障がい者向けの各種教室の開催	内容	60歳以上の高齢者や障がい者に対して、ニーズに合わせた教養の向上及び趣味と仲間づくり、生きがいづくりの場を提供することを目的とした講座を開催した。			
		実績値	R4	R5	R6	備考
			10講座 (253人)	9講座 (186人)	10講座 (247人)	開催講座数及び参加延人数

⑷プレイルーム事業(市受託事業)

1	瀬戸市プレイルームの運営	内容	親子の集える場の提供、子育ての相談・援助の実施、子育て関連情報の提供、子育て支援に関する講習の実施等、地域子育て支援拠点の機能及び児童館機能を有する拠点の一つとして、子育て支援と児童の健全育成を推進した。			
		実績値	R4	R5	R6	備考
			292回 (6,440人)	292回 (9,765人)	293回 (15,199人)	開催回数及び参加延人数

2	育児講座･教室の開催	内容	保護者の育児意識を高め、乳幼児の健全な発達を促すことができるようにするための育児講座、小学生の健全育成を目的とする教室、親子で興味が持てる内容の講座等を開催した。			
		実績値	R4	R5	R6	備考
			88 回 (1,074 人)	71 回 (1,520 人)	66 回 (1,549 人)	開催講座数及び参加延人数

3　助成事業

【予算額　7,505,000 円　　決算額　7,355,000 円】

1	地区社協への活動配分金の交付	内容	地域住民から寄せられる一般会費の 9 割を地域福祉推進の主体である地区社協へ運営支援として配分金を支給した。			
		実績値	R4	R5	R6	備考
			8,017,000 円	7,563,000 円	7,355,000 円	19 地区社協への配分合計額

4　福祉奨学金支給事業

【予算額　4,173,000 円　　決算額　3,503,442 円】

1	福祉奨学金入学準備費支給事業	内容	経済的な理由により就学に難を抱える就学予定者の世帯に対し、福祉奨学金入学準備費 2 万円を支給した。			
		実績値	R4	R5	R6	備考
			189 人 (3,780,000 円)	116 人 (2,320,000 円)	171 人 (3,420,000 円)	支給者数及び支給金額合計額

5　共同募金配分事業

【予算額　14,952,000 円　　決算額　13,100,078 円】

⑴老人福祉活動、障害児・者福祉活動、児童・青少年福祉活動、ボランティア活動育成事業

1	社会福祉団体への助成金の交付	内容	市内の社会福祉団体等が実施する社会福祉事業に対して助成金を交付した。(助成先:瀬戸市老人クラブ連合会、瀬戸市身体障害者福祉協会、瀬戸おもちゃ図書館「クレヨン」、瀬戸市子ども会連絡協議会、瀬戸市少年センター運営協議会、瀬戸スカウト協議会)			
		実績値	R4	R5	R6	備考
			6 団体 459,709 円	6 団体 462,591 円	6 団体 465,000 円	交付団体数及び交付金額合計額
2	瀬戸おもちゃ図書館「クレヨン」の運営	内容	障がい児や小学生以下の子どもたちが、おもちゃを通して親子で楽しく遊びながら成長できるよう支援した。また、障がい児関係者及び子育て支援関係団体へのおもちゃの貸出を行った。			
		実績値	R4	R5	R6	備考
			24 日 45 人	36 日 401 人	59 日 872 人	開館日数及び利用者数
			63 個	20 個	448 個	おもちゃ貸出数

⑵福祉育成・援助活動

1	身近な地域の居場所「よりどころ」への支援	内容	誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるまちづくりを進めることを目的として、身近な地域の居場所「よりどころ」に対し、設置・運営に必要な費用の一部を助成した。			
		実績値	R4	R5	R6	備考
			16 か所 (221,000 円)	23 か所 (302,500 円)	29 か所 (398,000 円)	助成件数及び助成金額合計額

<table>
<tr><td rowspan="4">2</td><td rowspan="4">地区社協企画事業の推進</td><td>内容</td><td colspan="4">地域福祉推進のために地区社協が取り組む事業等の企画立案に向けた研修会の開催や助言及び事業費助成を行った。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">実績値</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>備考</td></tr>
<tr><td>3件
95,264円</td><td>4件
182,466円</td><td>6件
247,335円</td><td>助成件数及び助成金額合計
[高齢者と原山小学校との交流ボッチャ大会、萩山交流ボッチャ大会、ぐるっぺモーニング、グラウンドゴルフ交流、萩山交流なつまつり、土を楽しもう(作陶交流)]</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="3">3</td><td rowspan="3">地区社協子育てサロンの拡充</td><td>内容</td><td colspan="4">子育てサロン未実施の地域に、新たな子育てサロンの立ち上げのための働きかけを行った。また、既存の子育てサロンの運営等に対して相談・助言を行った。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">実績値</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>備考</td></tr>
<tr><td>10地区</td><td>10地区</td><td>10地区</td><td>相談・助言地区数</td></tr>
<tr><td rowspan="4">4</td><td rowspan="4">せとっちエール便の実施</td><td>内容</td><td colspan="4">様々な事情から食べ物に困っている方に、フードドライブ等により集められた食料品を配布し、食料品を通じてエール(励まし)をつなげる支援(フードパントリー)として「せとっちエール便」を実施した。
※なお、R6途中から支援方法の見直しを行った。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">実績値</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>備考</td></tr>
<tr><td>183個</td><td>126個</td><td>96個</td><td>フードドライブ等で集められた食料品の数</td></tr>
<tr><td>172件</td><td>170件</td><td>130件</td><td>エール便配布件数</td></tr>
<tr><td rowspan="4">6</td><td rowspan="4">広報啓発活動</td><td>内容</td><td colspan="4">本会の事業等を分かりやすく説明し、市民との情報共有及び市民の福祉への理解・参画を促進するため、社協だよりを発行した。また、ホームページやSNS(Facebook、Instagram)を活用し、幅広い世代に向けた広報啓発活動を行った。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">実績値</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>備考</td></tr>
<tr><td>4回</td><td>4回</td><td>4回</td><td>社協だより発行回数</td></tr>
<tr><td>63回</td><td>171回</td><td>184回</td><td>SNS投稿回数</td></tr>
<tr><td rowspan="4">7</td><td rowspan="4">社会福祉大会の開催</td><td>内容</td><td colspan="4">瀬戸市及び瀬戸市共同募金委員会と共催で、社会福祉の増進に寄与し、功績が顕著なものの顕彰のほか、赤い羽根協賛児童生徒作品コンクール最優秀賞の表彰を行った。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">実績値</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>備考</td></tr>
<tr><td>計　4団体
及び114人</td><td>計　4団体
及び57人</td><td>計　3団体
及び50人</td><td>R6.10.26(土)
顕彰者内訳
市長感謝1団体及び17人
社協会長表彰2団体及び13人
社協会長感謝20人
赤い羽根作品14人</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="3">8</td><td rowspan="3">社会福祉団体への助成金の交付</td><td>内容</td><td colspan="4">市内の社会福祉団体等が実施する社会福祉事業に対して助成金を交付した。(助成先:瀬戸市更生保護女性会、社会を明るくする運動瀬戸市推進委員会、人権擁護委員瀬戸地区委員会、瀬戸市民生委員児童委員協議会)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">実績値</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>備考</td></tr>
<tr><td>4団体
195,000円</td><td>4団体
195,000円</td><td>4団体
195,000円</td><td>助成団体数及び助成金合計額</td></tr>
<tr><td rowspan="3">9</td><td rowspan="3">民間保育所への支援</td><td>内容</td><td colspan="4">児童福祉の向上を目的として、市内の民間保育所の園児に還元される事業に配分金を交付した。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">実績値</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>備考</td></tr>
<tr><td>8施設
(181,000円)</td><td>8施設
(174,500円)</td><td>8施設
(163,500円)</td><td>交付施設数及び交付金額合計額</td></tr>
</table>

⑶歳末たすけあい募金配分金

1	歳末たすけあい募金配分事業	内容	新たな年を迎える時期に支援が必要な者に対し、必要とするサービスを支給するための券を交付し、日常生活の便宜を図り、その人及び家族の福祉の増進を図った。			
		実績値	R4	R5	R6	備考
			1,621 件 (3,038,000 円)	1,618 件 (3,040,500 円)	1,542 件 (2,866,500 円)	支給券交付決定件数及び支給券利用金額合計額
2	地区社協歳末たすけあい事業への支援	内容	地区社協が主催し、各関係団体と共催または協力を得て、新たな年を迎える時期に支援を必要とする人たちが地域で安心して暮らすことができるよう、12 月から 1 月にかけて行う事業を支援した。			
		実績値	R4	R5	R6	備考
			2,000,000 円	2,000,000 円	2,000,000 円	19 地区社協への配分金合計額
3	福祉クリスマス会の開催	内容	障がい児とその家族が楽しく行事に参加し交流を深めるため、市内在住の 18 歳までの障がい児を対象とする福祉クリスマス会を開催した。			
		実績値	R4	R5	R6	備考
			34 人	127 人	154 人	R6.12.14(土) 障がい児等 59 人、関係者 95 人
4	障がい者施設への支援	内容	障がい福祉の向上を図ることを目的として、新たな年を迎える時期に障がい者施設の利用者に還元される事業に配分金を交付した。			
		実績値	R4	R5	R6	備考
			20 施設 (242,500 円)	21 施設 (241,000 円)	20 施設 (249,500 円)	交付施設数及び交付金額合計額
5	母子･父子福祉事業への支援	内容	母子福祉の向上を図ることを目的として、新たな年を迎える時期に母子福祉会が行う事業に対して配分金を交付した。			
		実績値	R4	R5	R6	備考
			75,000 円	75,000 円	75,000 円	交付金額

6　ボランティアセンター活動事業

【予算額　3,394,000 円　　決算額　3,085,781 円】

1	ふくしボランティアフェスティバルの開催	内容	地域住民が福祉を知り、ボランティアと接する機会及びボランティア同士の相互理解・交流を目的として健康まつりと合同で開催した。			
		実績値	R4	R5	R6	備考
			348 人	431 人	691 人※	R7.3.9(日) ※健康まつりと合同開催
2	ボランティア相談の実施	内容	ボランティア活動を希望する人やボランティア活動を依頼したい団体・施設からの相談等に対応するため、ボランティア相談を行った。			
		実績値	R4	R5	R6	備考
			141 件	248 件	318 件	相談内訳 活動依頼　185 件 活動希望･相談等　133 件
3	ボランティア活動への支援	内容	ボランティア保険の加入やボランティアセンターへの登録の推奨を行い、ボランティア活動に安心して取り組めるよう支援した。			
		実績値	R4	R5	R6	備考
			1,929 人	1,836 人	1,896 人	ボランティア保険加入人数
			78 団体 (1,392 人)	78 団体 (1,297 人)	80 団体 (1,355 人)	登録団体数

			12 人	15 人	16 人	登録個人数
4	ボランティア団体への支援	内容	ボランティアセンターの登録団体が行う地域福祉ボランティア活動について助成金を交付することで活動を支援し、市民福祉の向上を図った。			
		実績値	R4	R5	R6	備考
			19 件 (995,052 円)	20 件 (994,253 円)	19 件 (993,329 円)	地域福祉ボランティア活動助成金交付件数及び交付合計金額
5	ボランティア講座の開催	内容	ボランティアを身近に感じてもらうため、また、ボランティアの啓発や担い手の発掘・育成のため、市民等に対して講座や説明会を開催した。(福祉実践教室説明会、実践教室サポーター養成講座、こどもふくし体験きゃらばん)			
		実績値	R4	R5	R6	備考
			3 回	2 回	2 回	福祉実践教室説明会 R6.4.17(水) こどもふくし体験きゃらばん R6.7.30(火)、8.6(火)
6	ボランティアコーディネーターの育成及び活動促進	内容	ボランティアコーディネーター養成研修の受講修了者等とともにボランティアサロン等を開催し、ボランティアの育成・活動促進を図った。			
		実績値	R4	R5	R6	備考
			9 回 479 人	6 回 467 人	6 回 801 人	ボランティアサロン開催回数及び参加人数
7	ボランティアセンター運営委員会の開催	内容	ボランティアセンターの運営及び事業について、福祉団体関係者からなる運営委員より意見・助言を仰ぎ、整備・充実を図った。			
		実績値	R4	R5	R6	備考
			3 回	3 回	3 回	第 1 回 R6.4.24(水) 第 2 回 R6.10.16(水) 第 3 回 R7.2.19(水)
8	福祉実践教室の開催	内容	市内の児童・生徒を対象に、障がいや高齢など地域の福祉や生活課題に気づき、「豊かな人間性」や「ともに生きる力」を育むことを目的に、福祉実践教室を開催した。			
		実績値	R4	R5	R6	備考
			78 回 2,389 人	80 回 2,089 人	74 回 2,192 人	市内小・中・高校等 17 校での開催回数
9	福祉教育推進校事業の実施	内容	福祉教育推進校の委嘱を通じ、市内の小学校・中学校・高等学校及び専門学校の児童・生徒を対象に、社会福祉への理解と関心を高め、思いやりと助けあいの心を育み、地域福祉活動やボランティア活動への参加の促進をつなげることを目的に、社会福祉に関する実践学習の機会を確保し、福祉教育の推進を図った。			
		実績値	R4	R5	R6	備考
			2 校	7 校	7 校	福祉教育推進校委嘱校 小学校：陶原、效範、水野、にじの丘、瀬戸 SOLAN 中学校：水野 高　校：瀬戸
10	災害ボランティアセンターの体制整備	内容	大規模災害時に被災地・被災者支援を目的に立ち上げる災害ボランティアセンターの運営に向けて、コーディネーターの養成、実践的な立ち上げ訓練を行った。また、東尾張地域における局地災害発生時に東尾張ブロック内の社会福祉協議会間で救援活動を応援するための体制構築を図った。			
		実績値	R4	R5	R6	備考
			21 人 (148 人)	17 人 (160 人)	30 人 (178 人)	災害ボランティアコーディネーター養成講座受講者数及び登録者数
			1 回	1 回	1 回	災害ボランティアセンター立ち上げ訓練　120 人参加
			2 回	1 回	2 回	東尾張ブロック災害救援連絡会議への出席

			1回	1回	1回	東尾張ブロック社協局地災害時救援活動訓練への参加

7　資金貸付事業

【予算額　14,694,000円　　決算額　14,630,800円】（一部県社協受託事業）

1	生活福祉資金貸付の実施	内容	低所得者、障がい者または高齢者に対し、資金の貸付と必要な相談支援を通じ、その経済的自立及び生活意欲の助長促進並びに在宅福祉及び社会参加の促進を図った。			
		実績値	R4	R5	R6	備考
			1,776件 (1,243件)	701件 (342件)	701件 (326件)	相談・援助延件数 (うち、(　)はコロナ特例貸付)
2	緊急小口資金等の特例貸付の借受人へのフォローアップ支援事業の実施	内容	新型コロナ特例貸付を借り受けた世帯で、生活に困窮しており、支援が必要と考えられる世帯に対し、フォローアップ支援を行い、適切な関係機関と連携し、生活の再建に向けた支援を行った。(R6.4から新規)			
		実績値	R4	R5	R6	備考
			―	―	34件	フォローアップ支援件数
3	小口融資の実施	内容	法外援護として、自主財源を原資に2万円を上限に小口融資を行った。			
		実績値	R4	R5	R6	備考
			14件 (239,855円)	13件 (242,640円)	17件 (340,000円)	小口融資件数及び融資合計額

8　日常生活自立支援事業

【予算額　1,076,000円　　決算額　939,065円】（県社協受託事業）

1	日常生活自立支援事業の実施	内容	認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等のうち判断能力に不安のある方が地域において自立した生活が送れるよう、利用者との契約に基づき、福祉サービスの利用援助等を行った。			
		実績値	R4	R5	R6	備考
			13件	13件	10件	契約者数
			293件	331件	330件	相談・援助延件数

9　相談事業

【予算額　1,454,000円　　決算額　1,379,326円】

1	心配ごと相談の実施	内容	毎週木曜日の午後1時～4時(祝日を除く)に、心配ごと相談員(民生委員)により、市民の心配ごとについて相談、助言等を行った。			
		実績値	R4	R5	R6	備考
			47回32件	50回47件	50回41件	処理内訳 他機関の紹介等 14件 解決したもの　11件 その他　16件
2	心配ごと相談員の資質向上	内容	心配ごと相談員に対して、相談支援の資質向上のための研修会を開催した。			
		実績値	R4	R5	R6	備考
			1回26人	1回22人	1回22人	R7.2.25(火) 研修会内容 講演:「メンタル不調の方に対するコミュニケーション方法を学ぶ」 講師:桶狭間病院藤田こころケアセンター　精神科認定看護師 時任小夜子 氏

3	法律相談の実施	内容	毎月第 1～4 木曜日の午前 9 時～正午(祝日を除く)に、法律相談員(弁護士)により、市民からの法律に関する相談、助言等を行った。			
		実績値	R4	R5	R6	備考
			44 回 230 件	46 回 249 件	46 回 236 件	処理内訳 他機関の紹介等　1 件 解決したもの　235 件

10　福祉基金運営事業

【予算額　2,754,000 円　　決算額　2,752,040 円】

1	福祉基金の設置及び管理	内容	社会福祉活動推進のために積み立てた基金の運用益を、市社協が行う事業に要する費用に充てた。
2	さんあい福祉基金の運営	内容	さんあい福祉活動の推進のために設置した基金の運用益を、障がい福祉、母子福祉、高齢者福祉、その他地域福祉に必要な事業を行う各種福祉団体へ配分した。

11　やすらぎ介護支援事業　(せと地域福祉サービスセンター)

【予算額　9,094,000 円　　決算額　8,568,386 円】

1	ケアプランの作成	内容	せと地域福祉サービスセンター(居宅介護支援事業所)を運営し、要介護認定者に対して介護保険サービスを利用するためのケアプランを作成した。			
		実績値	R4	R5	R6	備考
			82 人	53 人	61 人	介護度内訳(数値は R7.3 実績) 要介護 1　20 人 要介護 2　19 人 要介護 3　 7 人 要介護 4　 9 人 要介護 5　 6 人
			934 件	747 件	683 件	介護度内訳(数値は延件数) 要介護 1　216 件 要介護 2　219 件 要介護 3　100 件 要介護 4　 75 件 要介護 5　 73 件

12　地域活動支援センター事業　(やすらぎ地域活動支援センター)

【予算額　4,223,000 円　　決算額　3,421,330 円】

1	地域活動支援センターの運営	内容	障がいのある方に昼間の居場所や生きがいづくりのために、創作的活動や生産活動の機会等を提供し、地域社会とのつながりを持てるよう支援した。			
		実績値	R4	R5	R6	備考
			24 人	14 人	12 人	利用登録者数
			1,224 人	576 人	551 人	延利用者数

13　やすらぎ地域包括支援センター事業

【予算額　81,808,000 円　　決算額　71,178,433 円】

⑴包括的支援事業(市受託事業)　(やすらぎ地域包括支援センター)

1	総合相談支援業務	内容	高齢者をはじめとする地域住民が住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができるよう、どのような支援が必要かを把握し、地域における適切な保健・医療・福祉サービス、関係機関または制度の利用につなげるなどの支援を行った。			
		実績値	R4	R5	R6	備考
			351 件	360 件	403 件	相談延件数
2	包括的･継続的ケアマネジメント支援業務	内容	包括的・継続的ケアマネジメントを実現するため、地域における連携・協働の体制づくりや個々の介護支援専門員に対する支援等を行った。			
		実績値	R4	R5	R6	備考
			174 件	245 件	144 件	支援件数
3	認知症総合支援事業	内容	認知症初期集中支援チームを設置し、医療・介護等のネットワークを活用しながら早期診断・早期対応に向けた地域支援体制を構築することを目的とした認知症総合支援事業を実施した。			
		実績値	R4	R5	R6	備考
			10 件	12 件	16 件	認知症初期集中支援延件数
4	地域ケア会議の実施	内容	包括的・継続的ケアマネジメント業務の効果的な実施のため、医療、介護等の専門職をはじめ、地域住民や民生委員、自治会長、ＮＰＯ法人、社会福祉法人、ボランティア等、地域の多様な関係者により構成される地域ケア会議を開催した。			
		実績値	R4	R5	R6	備考
			1 回	1 回	1 回	R7.1
5	一般介護予防事業	内容	介護予防普及啓発事業として介護予防教室(口腔)を、地域介護予防活動支援事業として地域はつらつ講座を地域住民に対して実施した。			
		実績値	R4	R5	R6	備考
			3 回	3 回	3 回	介護予防教室(口腔教室)
			1 回	0 回	6 回	地域はつらつ講座
6	任意事業	内容	認知症に対する正しい知識と理解を持ち、地域で認知症の人やその家族に対してできる範囲で手助けする方を養成し、認知症高齢者等にやさしい地域づくりを目指すため、認知症サポーター養成講座を地域住民や地域の企業等に対して実施した。			
		実績値	R4	R5	R6	備考
			3 回	1 回	1 回	主催 1 回

⑵指定介護予防支援事業

1	介護予防ケアプラン等の作成	内容	やすらぎ地域包括支援センターの事業として、陶原・長根地区の要支援認定者及び事業対象者に対して介護保険サービスを利用するための介護予防ケアプランを作成した。			
		実績値	R4	R5	R6	備考
			2,255 件	2,409 件	2,530 件	介護予防ケアプラン作成延件数

⑶基幹型包括支援センター事業(市受託事業)　(瀬戸市基幹型地域包括支援センター)

1	地域ケア会議の運営	内容	地域ケア会議の考え方や実施手法を整理し取りまとめ、地域型センターが開催する地域ケア会議を支援した。			
		実績値	R4	R5	R6	備考
			8回	7回	10回	開催支援回数
2	認知症総合支援事業	内容	認知症の人が認知症の容態に応じて必要な医療や介護等のサービスが受けられるよう関係機関との連絡体制や相談支援体制の構築を図った。			
		実績値	R4	R5	R6	備考
			383件	353件	289件	認知症に関する相談延件数
3	資質向上及び研修等の実施	内容	地域包括支援センター職員、ケアマネジャーの資質向上を図るための研修会や市民等を対象とした研修会及び認知症に関する研修会等を開催した。			
		実績値	R4	R5	R6	備考
			33回	18回	20回	地域型センター職員、ケアマネジャー向け専門研修及び市民向け認知症関連研修等
4	相談支援	内容	高齢者をはじめとする地域住民が住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができるよう、どのような支援が必要かを把握し、地域における適切な保健・医療・福祉サービス、関係機関または制度の利用につなげるなどの支援を行った。			
		実績値	R4	R5	R6	備考
			1,253件	1,242件	1,506件	相談延件数

⑷やすらぎ障がい者相談支援センター事業(市受託事業)

1	基本相談支援	内容	障がい者等からの相談に応じ、必要な情報の提供等や瀬戸市障がい者相談支援センター等の関係機関につなぐ同行(伴走)支援を行うこと及び必要な援助等を行うことにより、障がい者等が自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう支援した。			
		実績値	R4	R5	R6	備考
			509件	402件	215件	相談延件数

14　介護保険訪問調査事業

【予算額　38,604,000円　　決算額　36,216,683円】(市受託事業)

1	介護保険訪問調査の実施	内容	瀬戸市から委託を受けて、要介護認定調査対象者に対して介護支援専門員が訪問調査を行った。			
		実績値	R4	R5	R6	備考
			2,683件	2,724件	2,477件	訪問調査件数

15　その他の支援事業

⑴瀬戸市共同募金委員会

1	瀬戸市共同募金委員会への支援	内容	市内区域の共同募金運動の推進にあたり、瀬戸市共同募金委員会の管理・運営や募金運動等を支援した。 共同募金運動(赤い羽根共同募金及び歳末たすけあい募金)の実施 　合計 14,801,210 円 　(赤い羽根共同募金 8,997,885 円、歳末たすけあい募金 5,803,325 円) 募金機能付き自動販売機の普及啓発 　延設置台数 18 台 赤い羽根協力店の普及啓発 　店舗数 41 店舗

⑵日本赤十字社愛知県支部瀬戸市地区

1	日本赤十字社愛知県支部瀬戸市地区への支援	内容	活動資金の募集、災害見舞金及び物資の支給、災害義援金等の受付、災害救護及び訓練の実施等について支援を行った。 活動資金の募集 　一般 6,137,422 円　法人 518,000 円 災害見舞金及び物資の支給 　4 件(見舞金 27,000 円　弔慰金 30,000 円　タオルケット 14 枚　緊急セット 2 セット)